

サウナーの地域性に関する一考察

本稿では、弊所が2016-19年末に行った「日本のサウナ実態調査」（フルサンプル40000人）に付随する調査項目を利用し、サウナに関する地域性の一側面について調査結果を報告します。

1. サウナが好きな地域について

サウナに関して好印象を抱いている人はどの程度社会にいるのかを概観します。サウナに対して好印象を抱いている割合は、全国的に31.38%となりました。都道府県別の割合を多い順にリストアップした結果を表1に掲示します。

本項を比較するため、弊所では以下の設問を尋ねました：

設問：サウナは好きですか？以下の項目から選んでください。

選択肢：とても好き；やや好き；どちらともいえない；やや苦手；苦手

本設問に関し、「好き」「やや好き」のどちらかを選んだ割合を本節では示しています。この結果より、最も高い割合を示したのは石川県で37.74%、次いで新潟県（34.97%）、栃木県（34.14%）となりました。また、最も低かったのは佐賀県の25.35%となりました。

表1：サウナが「好き or やや好き」と回答した割合（地域順）

順位	都道府県	好きorやや好き	順位	都道府県	好きorやや好き
1	石川県	37.74%	25	愛知県	30.09%
2	新潟県	34.97%	26	福井県	30.00%
3	栃木県	34.14%	27	愛媛県	29.91%
4	東京都	34.08%	28	富山県	29.85%
5	群馬県	33.98%	29	山口県	29.71%
6	大阪府	33.71%	30	徳島県	29.66%
7	岩手県	33.24%	31	埼玉県	29.66%
8	滋賀県	32.77%	32	奈良県	29.27%
9	宮崎県	32.64%	33	山梨県	29.11%
10	福島県	32.47%	34	大分県	29.10%
11	神奈川県	32.44%	35	静岡県	28.96%
12	宮城県	32.21%	36	長崎県	28.86%
13	京都府	32.21%	37	三重県	28.71%
14	福岡県	32.02%	38	高知県	28.70%
15	長野県	31.98%	39	岐阜県	28.00%
16	茨城県	31.42%	40	沖縄県	27.99%
17	全国平均	31.38%	41	香川県	27.94%
18	千葉県	30.99%	42	鳥取県	27.22%
19	兵庫県	30.92%	43	秋田県	26.83%
20	北海道	30.72%	44	岡山県	26.48%
21	熊本県	30.43%	45	和歌山県	26.09%
22	広島県	30.42%	46	青森県	25.92%
23	山形県	30.37%	47	島根県	25.61%
24	鹿児島県	30.11%	48	佐賀県	25.35%

注：弊所が2016~2019年末に実施した「日本のサウナ実態調査」より作成。各都道府県のサンプルサイズは本稿末に添付。フルサンプルは40000。

2. サウナ愛好家が多い地域について

では、実際にサウナに赴いている人はどの程度の割合で存在するのでしょうか。サウナに通う頻度を尋ねるため、以下の設問を尋ねました：

設 問：あなたは、「サウナ」に何回程度入りますか。あてはまるものをお選びください。
 選択肢：月に15回以上；月に9～14回程度；月に4～8回
 月に3回以下；月に1回程度；2～3ヵ月に1回程度
 半年に1回程度；1年に1回程度；それ以下；入らない

本調査結果のリリースでは、上記項目を用いてサウナ愛好家を以下のように分類しています：

- ヘビーサウナー：週1回以上入る人の割合
- ミドルサウナー：月1～3回程度入る人の割合
- ライトサウナー：年1～11回程度入る人の割合
- 非愛好家：サウナに定期的に入らない人の割合

表2：サウナ愛好家に関する割合（都道府県別）

都道府県	ヘビー	ミドル	ライト	非愛好家	都道府県	ヘビー	ミドル	ライト	非愛好家
北海道	4.27%	10.33%	21.59%	63.80%	滋賀県	4.24%	10.45%	24.01%	61.30%
青森県	5.73%	9.86%	14.22%	70.18%	京都府	4.89%	7.27%	23.06%	64.79%
岩手県	4.51%	9.86%	23.10%	62.54%	大阪府	4.80%	8.64%	22.90%	63.66%
宮城県	3.47%	10.63%	22.37%	63.53%	兵庫県	4.43%	8.45%	21.67%	65.46%
秋田県	5.23%	8.36%	17.07%	69.34%	奈良県	4.92%	7.73%	20.37%	66.98%
山形県	7.06%	7.98%	19.33%	65.64%	和歌山県	3.91%	8.70%	19.13%	68.26%
福島県	6.37%	7.97%	20.72%	64.94%	鳥取県	3.80%	5.06%	21.52%	69.62%
茨城県	4.58%	7.86%	21.44%	66.12%	島根県	2.44%	6.10%	22.56%	68.90%
栃木県	3.30%	9.03%	25.77%	61.89%	岡山県	3.21%	6.58%	16.37%	73.84%
群馬県	3.16%	11.65%	23.06%	62.14%	広島県	3.08%	8.63%	20.14%	68.14%
埼玉県	4.66%	8.24%	20.65%	66.44%	山口県	4.00%	7.43%	19.43%	69.14%
千葉県	4.42%	8.04%	20.82%	66.72%	徳島県	1.27%	5.93%	20.34%	72.46%
東京都	4.98%	8.67%	23.39%	62.96%	香川県	3.53%	10.00%	18.82%	67.65%
神奈川県	5.06%	7.86%	22.14%	64.95%	愛媛県	6.20%	6.62%	20.09%	67.09%
新潟県	3.93%	10.55%	20.25%	65.28%	高知県	4.17%	8.33%	15.28%	72.22%
富山県	3.08%	12.00%	21.23%	63.69%	福岡県	3.77%	8.47%	20.95%	66.81%
石川県	6.89%	12.12%	24.79%	56.20%	佐賀県	0.47%	7.04%	21.13%	71.36%
福井県	6.00%	9.50%	19.50%	65.00%	長崎県	3.23%	7.46%	17.66%	71.64%
山梨県	4.23%	5.63%	22.54%	67.61%	熊本県	4.35%	10.30%	19.45%	65.90%
長野県	2.44%	8.93%	23.05%	65.58%	大分県	4.68%	8.70%	19.06%	67.56%
岐阜県	3.36%	7.68%	22.08%	66.88%	宮崎県	4.13%	6.20%	23.97%	65.70%
静岡県	2.83%	7.06%	22.91%	67.20%	鹿児島県	4.14%	9.94%	18.23%	67.68%
愛知県	3.76%	7.55%	21.42%	67.27%	沖縄県	2.39%	6.48%	17.41%	73.72%
三重県	3.82%	7.63%	18.47%	70.08%	全国平均	4.32%	8.48%	21.48%	65.72%

注：弊所が2019年12月に実施した「日本のサウナ実態調査」より作成。各都道府県のサンプルサイズは本稿末に添付。フルサンプルは40000。

表2では、都道府県別の割合を北から順に並べています。全国平均ではヘビーサウナーが4.32%、ミドルサウナーが8.48%、ライトサウナーは21.48%です。

ヘビーサウナーが最も多いのは山形県で7.06%、つまり約7%の人が週1回以上サウナに通っています。次いで石川県(6.89%)、福島県(6.37%)でした。非愛好家比率についてみると、最

も少ないのは石川県で 56.20%、つまり約 44%の人が年 1 回以上サウナに赴いています。次いで少ないのは滋賀県（61.30%）、栃木県（61.89%）でした。

これらを見てもわかる通り地域のばらつきがあるものの、サウナ愛好家比率はまだまだ伸びしろがありそうです。また、サウナ人口の経年変化については、これまでのリリースで述べている通りほとんど増加傾向はありません。したがって日本におけるサウナ愛好家人口比率は、安定してこの水準で動いています。

3. 公衆浴場施設数との関係

サウナ愛好家の地域差はどのように説明されるのでしょうか。日本の入浴習慣に関する議論としては山内・山内（2011）や Clerk（1994）などの先行研究に譲るとして、社会的な調査を基にした議論は未だ僅少であり、今後探求すべき主題の一つです。本稿でその全容を明らかにするにはあまりに難しい問題ですが、ここでは一つの可能性として、「サウナ愛好家の割合」と「公衆浴場施設数」の相関を俯瞰します¹。

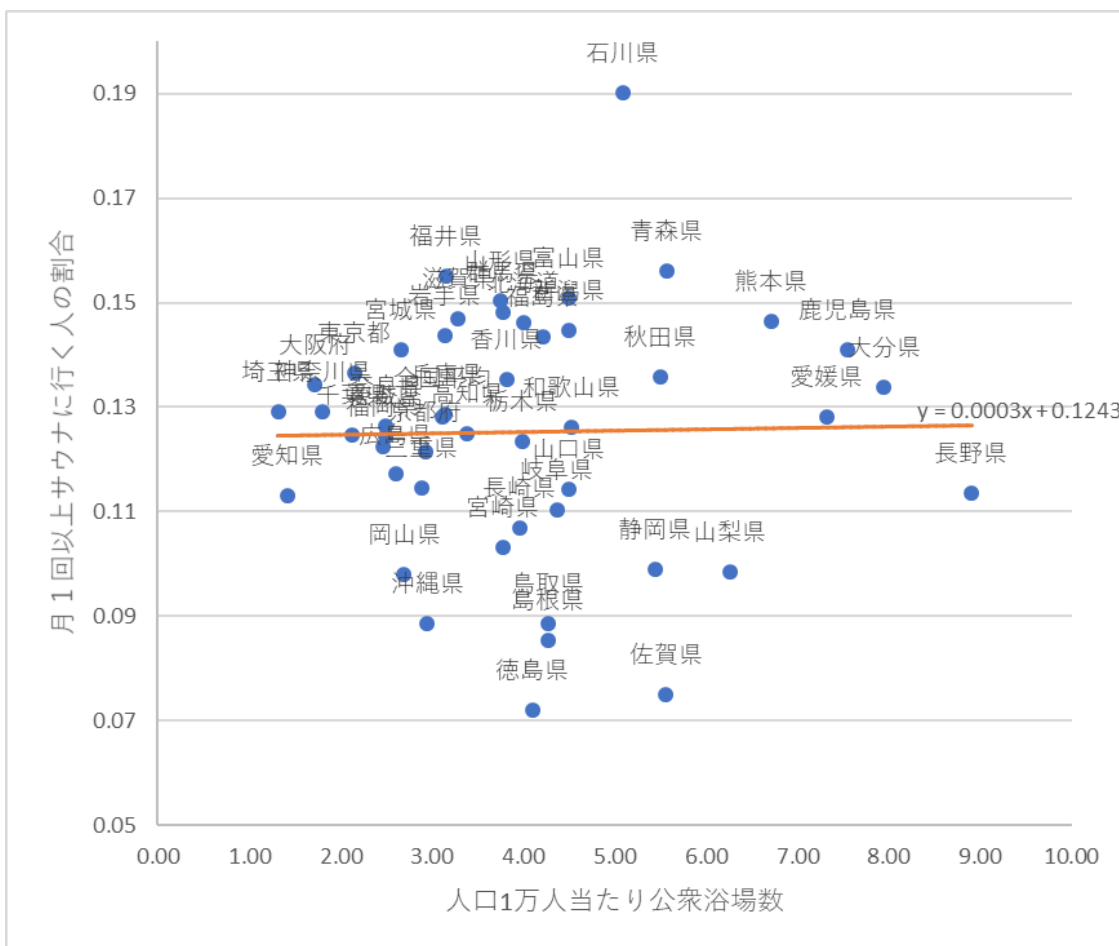


図1：サウナ愛好家比率と公衆浴場数の相関

¹ ここで使用する公衆浴場施設数は、厚生労働省が発表している衛生行政報告例より平成 30 年度のデータを使用しました（[リンク](#)）。この数値では、サウナを含むすべての公衆浴場数を網羅している点にご注意ください。また、サウナ施設だけの正確な施設数について、弊所では現在把握していませんが、行政に届け出を出している公衆浴場数と相関があると見做し、ここでは代替的にこのデータを用いて解釈します。

まず、サウナ愛好家の指標として、月1回以上サウナに通う人の割合を都道府県ごとに算出します。これは前節でいうところの、ヘビーサウナーとミドルサウナーの合計となります。つぎに、都道府県ごとの公衆浴場施設数を算出します。こちらは人口1万人あたりの公衆浴場施設数を算出し、サウナ愛好家との相関を算出します²。

二つの指標の散布図を示したものが図1となります。この図では横軸が「人口1万人当たり公衆浴場数」、縦軸が「月1回以上サウナに行く人の割合」となります。この図をみてもわかるように、公衆浴場施設数とサウナ愛好家比率に強い相関はみられません。したがって、公衆浴場施設数が多いからと言って、サウナ愛好家が多いわけではないことがわかります³。このテーマについては今後追加報告ができるよう精進いたします。

参考文献

Angrist, J. D., & Pischke, J. S. (2008). Mostly harmless econometrics: An empiricist's companion. Princeton university press.

Clark, S., & Japan, A. (1994). View from the Bath.

厚生労働省.(2019). 衛生行政報告例. (last accessed: 26th Feb. 2020): <https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450027&tstat=000001031469>

総務省 (2019). 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数. (last accessed: 26th Feb. 2020): https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01gyosei02_02000193.html

山内昶 & 山内彰. (2011). 風呂の文化誌. 文化科学高等研究院(EHESC)出版局.

² 人口については、総務省が発表している「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」を使用しています ([リンク](#))。

³ 公衆浴場施設の密度とサウナ愛好家の相関が散布図で見られなかったからといって、因果関係が無いとは言いきれない点にご注意ください。相関関係と因果関係の議論については Angrist and Pischke (2011)などをご参照ください。

添付表：都道府県ごとのサンプルサイズ

都道府県	サンプルサイズ
北海道	1,732
青森県	436
岩手県	355
宮城県	894
秋田県	287
山形県	326
福島県	502
茨城県	611
栃木県	454
群馬県	412
埼玉県	2,232
千葉県	1,878
東京都	5,165
神奈川県	3,144
新潟県	815
富山県	325
石川県	363
福井県	200
山梨県	213
長野県	616
岐阜県	625
静岡県	991
愛知県	2,582
三重県	498
滋賀県	354
京都府	798
大阪府	2,895
兵庫県	1,740
奈良県	427
和歌山県	230
鳥取県	158
島根県	164
岡山県	623
広島県	973
山口県	350
徳島県	236
香川県	340
愛媛県	468
高知県	216
福岡県	2,124
佐賀県	213
長崎県	402
熊本県	437
大分県	299
宮崎県	242
鹿児島県	362
沖縄県	293
合計	40,000